



大淀中だより

学校教育目標「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校

学校だより⑦

令和6年(2024) 10月29日

校長 川上 貴由

ゴリ押せ！大淀の民!!～脱皮して真の姿へ～

10月17日(木)体育大会を開催しました。大会当日は暑さを感じるぐらいの晴天となりました。大会も、その暑さに負けないぐらいの熱い体育大会となりました。今年度より、本校で進めている学校改革の1つであるピアサポートの一貫として、各クラスが3つの団に分かれて実施しました。団対抗の綱引きや玉入れなど新しい競技種目を行いました。そして、何よりも生徒たちのたくさんの笑顔を見られたことは、この上ない喜びでした。

先日の PTA 本部役員会では、多くの方が撮影できるような保護者席の工夫や、選手席の配置などについてご意見を頂きました。今回の大会を振り返り、来年度につなげていきます。

そして、ご多忙にも関わらず、多くの来賓の方々、保護者の方々に、ご参観いただいたことは、生徒たちの励みとなったことと思います。また、PTA本部役員の皆様におかれましては、冷凍のお茶ペットボトルの準備など、暑い中、運営にご協力をいただき、誠にありがとうございました。



【開会式(吹奏楽部・選手宣誓)】



【団対抗 玉入れ】



【団対抗 綱引き】



【100m走】



【チャレンジリレー】



【バンブーサーフィン
～竹取物語～
(1年生)】



【ムげんの力なかに、ほないく
デー!～Second stage～
(2年生)】



【大淀キングダム FINAL～大淀
統一!すべての者の想いをのせて～
(3年生)】



【部活動紹介リレー】



【色別対抗リレー】



【色別対抗 しっぽ取り合戦】



【学級対抗リレー】

全国学力・学習状況調査の結果

4月18日(木)、3年生を対象として実施されました「全国学力・学習状況調査」についての結果と考察を報告します。この調査は、国語・数学のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。

■国語

すべての領域・問題の正答率が全国平均に比べ下回っています。観点別でみると「知識・技能」では言葉の特徴や使い方に関する事項と我が国の言語文化に関する事項、「思考力・判断力・表現力」では読むことに関する問いが全国平均と顕著な差が見られました。

問題別では、「文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する問題」と「短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える問題」が特に全国平均より大きく下回っていました。

その一方で、昨年度から好転した部分もあります。昨年度最も正答率が低く無解答率が高かったのは漢字や記述解答の問題でしたが、今回の漢字問題や「話し合いの話題や発言を踏まえ、『これからどのように本を選びたいか』について自分の考えを書く」という記述問題は、ほぼ全国平均と変わらない結果となりました。

(今後の改善点)

文法に関して何となく分かっているつもりでも、文章の中で「どこが、なぜ違うか」という観点で見たときには説明ができないという現状があります。学習する際には、ただ知識を定着させるだけでなく「どのような場面で使うか」や「なぜそうなるのか」を意識して学習していくことが大切です。また問われていることが難解に思えても、文章中に答えやキーワードが必ずあると思いながら読み取ることも重要です。

漢字の定着、粘り強く記述する力は少しずつ付いてきています。今出来ているところはそのまま伸ばしていきます。そして、課題である文法は、暗記するのではなく日常生活の会話や教科書の文章と結び付けて理解しようとするのを念頭に置いて指導していきます。読解問題は、接続詞や文と文の関係(文法)から読み取る力や粘り強く考える力を付ける指導をしていきます。

■数学

総合的には、全国平均より下回っています。しかし、確率・資料の活用の問題においては全国平均を上回っていました。基本的な問題を解く力は定着してきていますが、それを活用する力が育っていないように考えられます。ただ、「数学の勉強は好きですか」「数学の授業の内容がよく分かりますか」の問いに対して、肯定的な意見が全国平均を上回っています。この前向きな気持ちを、応用、発展問題に取り組む意欲につなげていきます。

(今後の改善点)

基礎基本の定着を引き続き行うために、日々の授業では、生徒同士をつなぐ教え合いの授業を行います。また、学習した内容を応用・発展することを苦手とする傾向が見られるので、基礎・基本を大切にしつつ、活用する力を育てたいと思います。このため、身に着けた学力を身近な問題とつなげられるような課題をグループで解決していくような授業を行います。

■生徒質問紙

「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」の問いに対して、肯定的な意見が全国平均より大きく下回っていました。一方で、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いに対して、肯定的な意見が全国平均を上回っています。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれますか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の問いに対して、肯定的な意見が全国平均を大きく上回っていますので、人の役に立つ人間になりたいという思いを、夢や目標につながっていくように、残りの日々の学校生活、行事や、キャリア教育の中で、全力でサポートしていきます。

「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム・携帯式のゲーム・携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をしますか」という問いに対して、費やす時間が4時間以上の生徒が全国平均の約2倍と突出して多くなっています。このことが起因し、家庭学習の時間が短くなっていると考えられるので、今後引き続き、家庭とともに改善に向けて取り組みたい課題だと考えています。

(お詫びと訂正)

9月号にて、水泳部の種目に誤りがありました。紙面にてお詫びと訂正をさせていただきます。

【水泳部】

H. Hさん(2-4)

女子200m平泳ぎ **優勝**

女子100m平泳ぎ 第2位

(おことわり)

10月には、体育大会の他にも、学校運営協議会、地生連主催の音楽の集いなど、様々な取組が行われました。また、部活動でも、多くの競技で決勝トーナメントに進出しています。これらの記事については、体育大会・合唱コンクール・水城祭の結果と合わせて来月号にて掲載させていただきます。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「**京都はぐくみ憲章**」を実践しましょう!

